

BRC Top

お知らせ

ご挨拶

事業の概要

技術研修

組織図

各室概要

公開情報

リソース検討委員会

個人情報保護

採用情報 

アクセス

リソース検索

利用方法

提供申込み

寄託申込み

提供手数料

支払方法

総合カタログ

利用者登録

メールニュース

関連リンク

お問い合わせ先

## 公開情報

### 遺伝工学基盤技術室

小倉 淳郎 室長

#### 1. 設定した目標の妥当性

##### 1) BRCで実施する意義があるか

“世界最高水準のバイオリソースの整備”というセンターの目標に合致しているか？

凍結胚、生殖細胞、幹細胞についての技術開発は、バンク事業の柱となるものであり必須である。世界最高の発生工学技術を持ち、バンク事業のみならず、科学的研究の最先端の開拓に非常に貢献している。リソース整備と関連研究開発プログラムの間をとるもつという点でよく合致している。

BRCの目標達成に貢献する“道筋”は明確か？

開発のレベルを三段階にカテゴライズして、循環型の開発を行うという道筋は妥当である。人材育成計画なども具体的な達成法が明確に示されている。BRC以外の機関との連携については具体性が欲しい。また、マウス以外の動物については常にその必要性を考えて進めて欲しい。

##### 2) 5年間で達成可能な目標か？

萌芽レベルから実験レベルへと分類してから対応しており信頼性が高い。ABレベルは十分達成可能な範囲であると思われる。Cレベルの開発の成功には、相当の努力が必要であり、推進・撤退について指導力が要求されるが、これまでの実績から、どれだけのことが達成されるか期待は大きい。

##### 3) 国際的な視野に立った目標か？（国際的なリーダーシップにつながる目標か？）

世界的に見ても、先端的な技術開発を行っており、困難な課題が完成した場合には世界をリードする研究となる。マウスの輸送に関する研究は世界標準になる可能性があり、国際的なリーダーシップをとれる可能性は高い。

## 2. 目標達成のための計画の妥当性

### 1) 目標達成に向けての具体的な計画であるのか？

目標の難度に応じて具体的な方針が示されている。マウス以外の生物種への対応については、もう少し具体性が欲しい。

### 2) センターとして優先度の高い、必須な計画か？

バンク事業の基盤となっている技術開発を目指しており、センターとして重要な計画である。センターの先端性・信頼性に大きく貢献しており、優先度は非常に高い。マウス以外の生物種に対応するならば人員・スペース等で更なる手当が必要であろう。

### 3) 独創性の高い計画か？（単なる後追いではないか？）

精子の凍結保存法などの既存技術の改良、確立といった有意義な基盤技術開発計画は、高いレベルで遂行されている。また、体細胞クローン作成、誘導生殖幹細胞株の樹立など、開発項目も世界で最先端のものであり、高い独創性をもつと評価される。

### 4) 研究資源（予算・人員）範囲内で実現可能な計画か？

研究内容は萌芽レベルから実用レベルまでに分けており、その間のバランスもよい。研究室のこれまでの高い能力と実績から考えて、実現可能であると思われる。プロジェクトの数の多さを考えると、さらなる予算・人員の投入が必要であり、それは、大きな成果につながると期待される。

### 5) 計画を実施するために必要な経験、実績を有しているか？

有能な実験者を育成しながら、最先端分野を着実に切り開いている。研究課題が多いため、このプロジェクト型研究には若手研究者の確保と育成について、理研が再考する必要があると思われる。

## 3. その他

優れた人的資源の永続的確保が必要である。定年制職員とその他スタッフとの連携はうまくいっている。レベルCのLN2を用いない輸送法などの目標が達成されれば、世界的に大きな貢献になる。

